



第 100 号 2016 年 3 月 23 日 発行 島田療育センター支援部生活支援室ピコピコルーム
<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/piko/index.html>

発行第 100 号記念

設立当初からピコピコルームへのご支援くださっている、元後援会会長、渡部悦子様からのメッセージを掲載させていただきます。

グループ「まんてん」

2001 年、島田療育センターの後援会 40 周年記念として、故下島美代様からのご寄付で念願の「ピコピコルーム」が開設されました。その後今まで、下島様への感謝の気持ちで「ピコピコルーム」への協力を繋いできたグループ「まんてん」について少しお話ししたいと思います。

焼肉屋さんのような突飛な名前の「まんてん」は…

“まんてんの輝く星のその中に
われに向かいて光る星あり”

病床の正岡子規が障子の穴からみえる満天の星を読んだ句から…その中の星屑にでもなれたらの想いで名付けたグループです。

主に周りの方から届く寄付品（中元・歳暮の贈答品）の格安販売です。留守中の水やりなどのお礼も、ご近所の老婦人の遺言でいただいたお礼から…と。うれしかったことのおすそわけもあり、エッと驚く高額も、ささやかなご寄付もありいろいろな善意で成り立っています。草木染めの織物の販売もしています。等々。

グループ「まんてん」からは、センターの「ピコピコルーム」「くつろぎ」の書籍など。島田はちおうじの「いこい」の書籍、通所者の園芸用品など、後援会を通して、後援会閉会後は直接にお届けしております。

パソコンは障害を持つ方にとって最良の情報伝達機器と思います。私共の活動がお役に立つことであれば嬉しいことです。

人生の最終章に入ったこの頃は、いつまで…？と心細くもありますが、利用者の皆様の笑顔を思い浮かべてほそほそとでも続けたいと思います。

渡部記

ピコピコルーム備品の寄付をいただきました

去る平成 27 年 12 月に、グループまんてん様よりピコピコルーム備品代として 313,549 円のご寄付をいただきました。今後ピコピコルームでの活動がより豊かになるよう、備品の購入を進めていく予定です。具体的には、古くなったパソコンの入れ替え、需要の高い iPad の追加、病棟活動で大活躍の Wii に代わる「WiiU」などの購入に使わせていただきます。

最後になりましたが、いつもピコピコルームの活動をご理解いただき、ご支援くださっているグループまんてん様に感謝を申し上げます。（ピコピコルーム代表 神田）



ATACカンファレンスに参加しました！

平成 27 年 12 月 18 日、19 日、20 日に ATAC カンファレンス 2015 が国立京都国際会館にて開催されました。ピコピコ委員からは、スタッフ 2 名（OT、ST）が参加しました。今回のテーマは、「**学び働き暮らすためのチカラ**」でした。

様々なテクノロジー（電子情報支援技術：タブレットや PC 等）が生まれ、私たちの生活は便利になっています。でもそのテクノロジーをうまく活用できず、使いこなせる人って少ないですよ。

そもそも欲しい機能がついているものがなかったり、たくさんありすぎて欲しいものを見つけれなかったり…。この ATAC では、テクノロジーとコミュニケーション技術の普及を目的に毎年開催されています。



例えば、文字が読めない方の代わりに文章を読み上げてくれる機器があれば、その先の学習ができますよね。学習やコミュニケーション等における苦手さを「**鍛える**」のではなく、iPad 等のテクノロジーを用いて「**補い**」ながら能力を伸ばすという取り組みを行っている「魔法プロジェクト」。最先端機器を教育の場で活用していくあり方について、考えていく良い機会となりました。

また、「サイボーグ化する身体と未来の生活」という講義では、現在ロボット義足により、健常者よりも速く走ることが出来る時代がやってきたとのこと。健常者と障害者という区別でなく、「**環境が障害を作っている**」という考え方についてのお話を聞くことができ、「障害」とは何かを考える良いきっかけになりました。

ATAC では発表だけでなく、多くの企業や団体製品展示がされていました。重度重複障害など、随意的な動きを捉えることの難しい人の反応を可視化したり、わずかな動きによるスイッチ操作を可能にする「OAKCam」や、最先端のトーキングエイド等に触れ、業者の方とも情報交換ができ、大変有意義な時間となりました。

今回得た知識をスタッフ間でも共有し、より充実した臨床につなげられるよう、努力していきたいと思えます。今回は貴重な機会を設けていただきありがとうございました。（ST 黒柳）



ピコピコルームについて

鳥田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、鳥田療育センターの利用者（入所・外来）の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。